

地域づくり学生インターンシップ制度による まちづくりへの参加

—NPO法人『竹の浦夢想塾』での活動を事例として—

田中 悠

(金沢市まちづくり市民研究機構市民研究員)

地域づくり学生インターンシップ制度・・・

地域づくりで活躍する人材育成を目指し、石川県内の自治体やNPO団体に学生を長期派遣する試み。

学生は、現地に長期滞在しながら地域づくりを現場で学ぶ。

(大学の地域貢献事業の一環)

対象

学部を問わずまちづくり・地域貢献などに興味のある学生

受け入れ先

県内のNPO、まちづくり団体、行政

例) NPO法人「はづちを」(加賀市山代温泉)

七尾市役所(七尾市)

七尾街づくりセンター株式会社・元気ななお仕事塾

NPO法人「竹の浦夢想塾」(加賀市大聖寺瀬越町) etc

派遣期間

夏休み期間(原則1ヶ月)

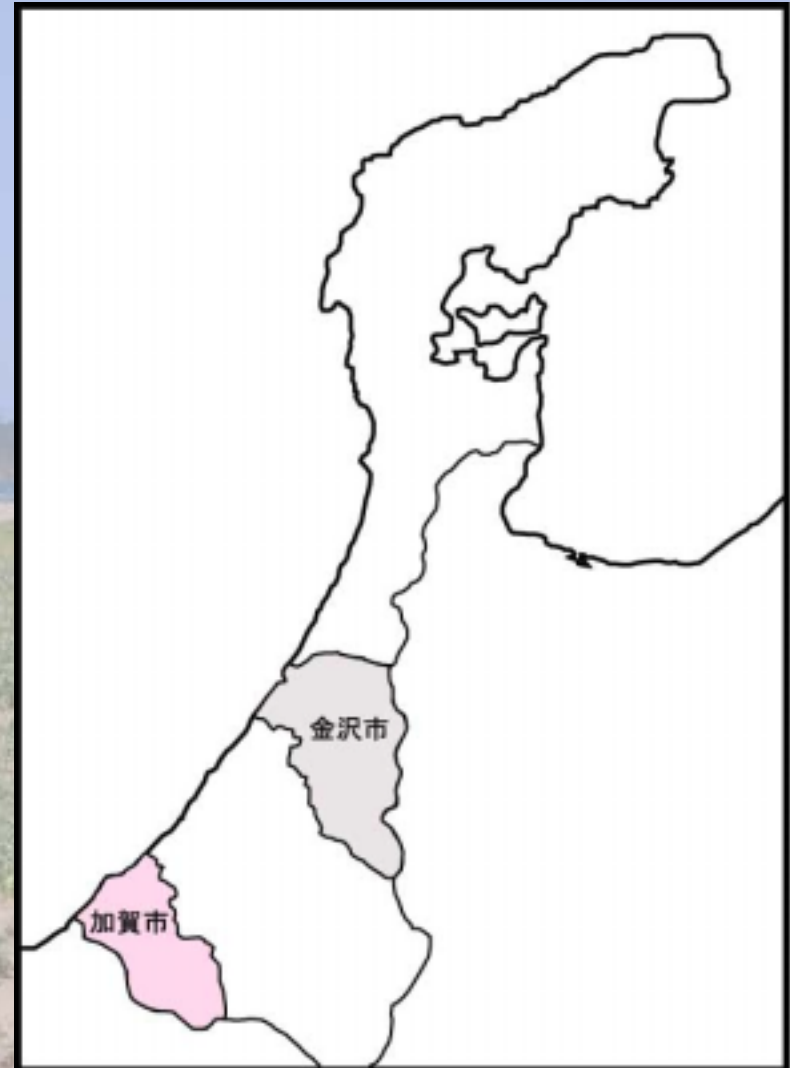
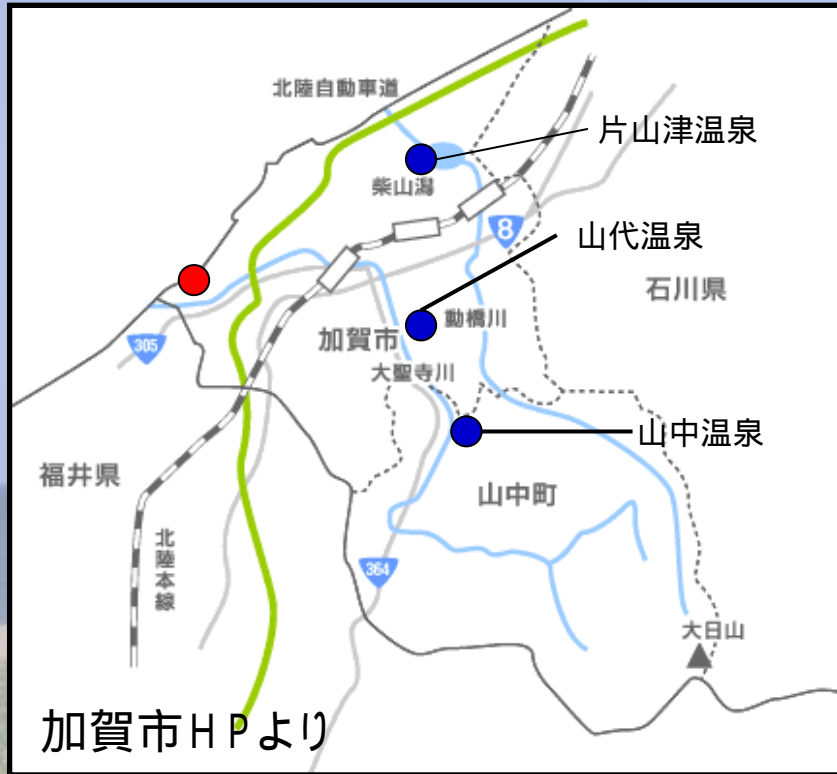
実績

2005年度10名(NPO8名、行政2名)

2006年度4名(NPO3名、行政1名)

事例報告

NPO法人『竹の浦夢想塾』での活動



所在地

加賀市大聖寺瀬越町

地域の概要

- ・平成17年10月1日、旧加賀市と旧山中町が合併し、新「加賀市」誕生
- ・観光が基幹産業

大聖寺瀬越町

大聖寺

大聖寺藩10万石の城下町として発展

瀬越町

江戸時代、北前船の寄港地として繁栄

北前船・・・北海道・日本海側の物産を下関を経由して瀬戸内海を通過して大坂に送る船

活動経緯

S43年 瀬越町小学校 廃校
H15年 「竹の浦館」 開館

「竹の浦館」の運営主体としてNPO法人『竹の浦夢想塾』発足

メンバー:

理事10名(地元で郷土食の伝承に興味を持つ人たち)

会員:

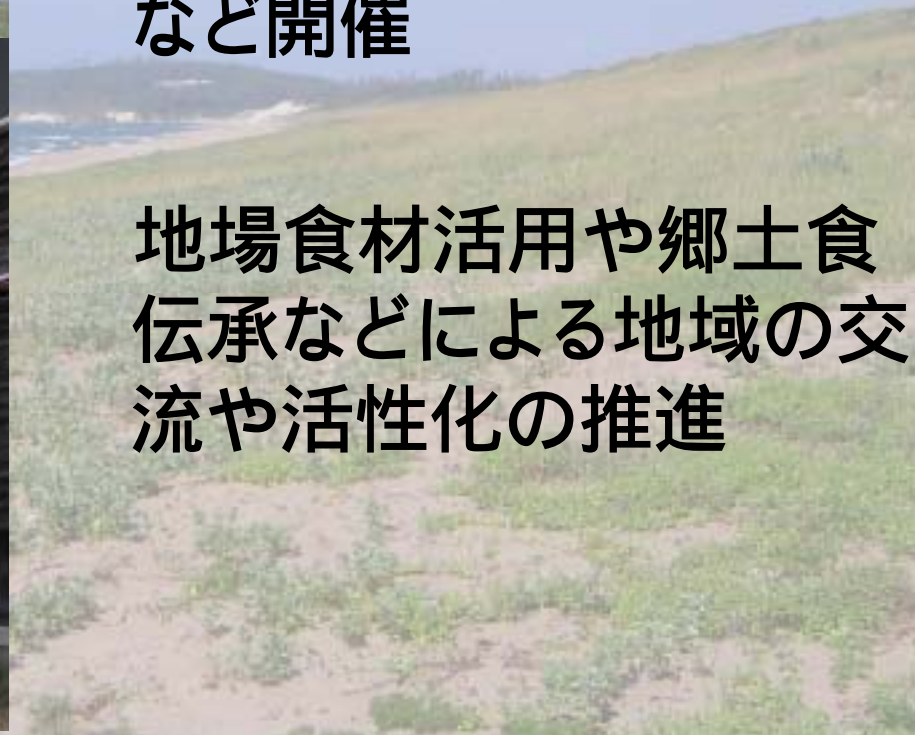
約100名(利用者は3割程度)



NPOの事業内容

「竹の浦館」を拠点に体験
教室・食堂・直売所・朝市
など開催

地場食材活用や郷土食
伝承などによる地域の交
流や活性化の推進





イベント
「食」に関する講演会
柿の葉寿司コンクール
コンサート etc.



小学生の校外学習補助
昼食の提供
そば打ち体験 etc.



工作室



研修室



調理室



多目的ホール

インターン中の活動内容

視察

大聖寺近辺でまちづくりにかかわる団体での聞き取り

通常業務

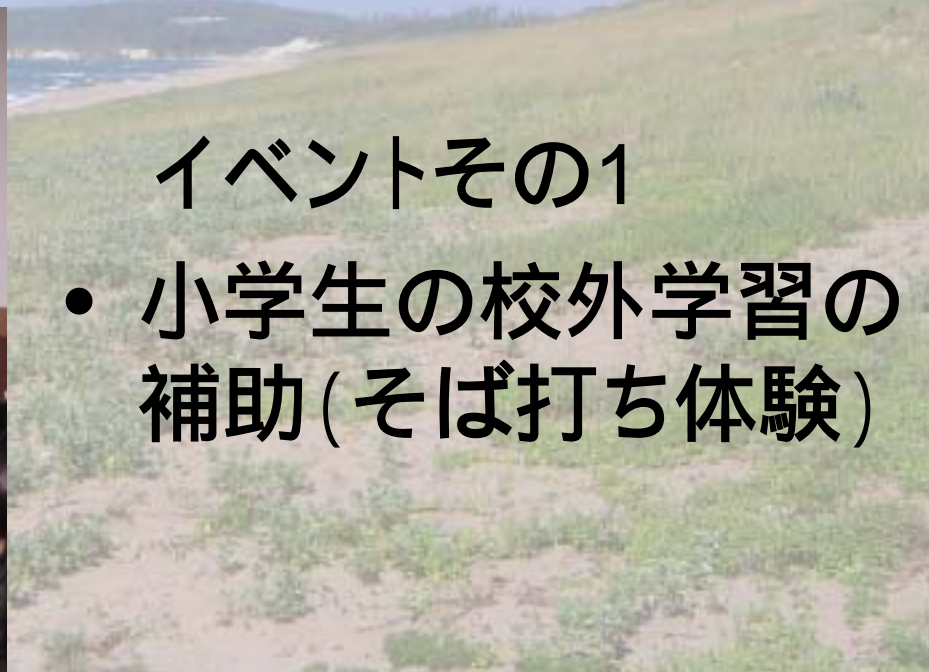
食堂での調理補助・接客

イベント

柿の葉寿司コンクール,小学生の校外活動の補助

提言(受け入れ先の要望)

今後のNPOの活動について提言



イベントその1

- 小学生の校外学習の補助(そば打ち体験)



イベントその2

- 柿の葉寿司コンクール

『竹の浦夢想塾』に対する提言

郷土料理の商品化による販売

地元住民参加の郷土料理コンクールの中で優秀なものは商品化を検討し販売する

グリーンツーリズムの拠点

地元の住民が講師となり観光客を対象とした農業体験、郷土食の体験教室、宿泊

地域づくり学生インターンシップ制度 についての雑感

学生側のメリット

- ・ 普段接する機会のない人たちとの交流
- ・ まちづくりの現場を実際に体験

受け入れ先のメリット

- ・ 労働力の確保
- ・ 外部の視点が入る(特に大学生が身近にいない地域で活動する団体にとって)

地域づくり学生インターンシップ制度の課題

実習期間のみの受け入れ先との関わり

学生の活動が単純労働で終わってしまう可能性

学生のモチベーションのばらつき

受け入れ先の負担増加

長期的な視野で受け入れ先と関わる必要性

単年度での関わり方

事前に**学生側の要望**と**受け入れ先の要望**のすり合わせ

複数年での関わり方

同じ団体に継続して学生を派遣、**学生の活動領域**を作る

以上で発表を終わります。
(ご清聴ありがとうございました。)

